



新着案内

早稲田大阪学園・図書館

http://www.waseda-setsuryo.ed.jp

No.77 2017/8/25

夏休み前に借りた本の返却期限は、9/9。
早めの返却をお願いします。
返却したついでに、入荷した新着本 60 冊にご注目★

「仕掛学 = SHIKAKEOLOGY」松村 真宏/東洋経済新報社

「女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと」
西原 理恵子/KADOKAWA お寿司も指輪も自分で買おう…。母から娘への厳しくもハートフルな生き方指南。もうすぐ、大きな帆をあげて、子どもたちの船が漕ぎ出していく。人生という航路に絶対安全はないからこそ、今伝えておきたいことを綴る。

「江戸の備忘録」磯田 道史/文藝春秋

「司馬遼太郎」で学ぶ日本史」磯田 道史/NHK 出版
戦国、幕末、明治、そして昭和前期。当代一の歴史家が、日本人の歴史観に最も影響を与えた国民作家に挑む。司馬文学の豊穡な世界から「歴史の本質」を鮮やかに浮かび上がらせた決定版。

「円周率の謎を追う」鳴海 風/くもん出版

「Mr.トルネード」佐々木 健一/文藝春秋
日本、アメリカ、戦争、原爆、死、謎の墜落事故。『ターナメント』を発見し、航空事故を激減させた気象学者・藤田哲也の実像を明らかにする。NHK 番組「プレイブ 勇敢なる者」の取材をもとに書籍化。

「知らない恥をかき世界の大問題/8」池上 彰/KADOKAWA
イギリスEU離脱決定からトランプ大統領誕生まで、「自国ファースト」の流れが世界を包んだ。その本質を解説しつつ、右派勢力が台頭する欧州、中東戦争の危機、暴走する北朝鮮など、世界のいまを池上彰が斬る。

「学校では教えてくれないお金の話」金子 哲雄/河出書房新社

「恋の相手は女の子」室井 舞花/岩波書店
初恋は女の子。でも、教科書には「思春期には異性に関心をもつ」って書いてある。LGBT 当事者の女性が、初恋から、加齢、アト、結婚まで、自身の体験を綴る他、様々な当事者のICレポートも紹介。

「大津中2いじめ自殺」共同通信社/PHP 研究所

「思考を深める探究学習」桑田てるみ/全国学校図書館協議会
「学生のレポート・論文作成トレーニング/改訂版」桑田てるみ/実教出版
レポート・論文作成に悩む学生のみみなさんに待望の1冊！しっかり書けるようにマスターできる決定版。初年次教育やゼミでの基礎演習にも最適。レポート作成に悩む社会人にもおススメ。

「人類と気候の10万年史」中川 毅/講談社

「その道のプロに聞く生きものの持ちかた」松橋 利光/大和書局
さわってみたら、かわいいよ！ その道のプロが、カブトムシ、バッタなど身近な虫たちから、イヌ、ヘビ、トカゲ、ワニまで、その正しい持ち方を伝授する本。生きものを無駄に傷つけず、持つ人間もケガしない持ち方がわかる。

「鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。」川上 和人/新潮社
出張先は火山にジャングル、無人島。血を吸うカラス、空飛ぶカタツムリ相手に奮闘し…。知られざる理系蛮族「鳥類学者」が抱腹絶倒、命がけの日々を綴る。『新潮45』連載を書籍化。

「身体(からだ)をめぐるリンパの不思議」中西 貴之/技術評論社
「橋」と「トンネル」に秘められた日本のドボク」三浦 基弘/実業之日本社
「IoTを支える技術」菊地 正典/SBクリエイティブ
「たのしいインフォグラフィック入門」櫻田 潤/ビー・エヌ・エヌ新社

「勝ち過ぎた監督」中村 計/集英社

「22年目の告白」浜口 倫太郎/講談社
「真夜中のパン屋さん/6」大沼 紀子/ポプラ社
「片想い」東野 圭吾/文芸春秋
帝都大アメフト部のOB西脇哲朗は、十年ぶりにかつての女子マネージャー日浦美月に再会し、ある「秘密」を告白される。過ぎ去った青春の日々を裏切るまいとする仲間たちを描くミステリー。

「どちらかが彼女を殺した」東野 圭吾/講談社

「雨の降る日は学校に行かない」相沢 沙呼/集英社文庫
昼下がりの保健室は教室に居場所のないサエとナツのささやかな楽園だった。けれどサエが突然「自分のクラスに戻る」と言い出して…。学校生活に息苦しさを感じている女子中学生の憂鬱と、かすかな希望を描き出す連作短編集。

「天に星地に花/上・下」常木 蓬生/集英社文庫
享保13年、久留米藩領。大庄屋、高松家の長男・甚八と次男・庄十郎は、訪れた善導寺で何干と集まる人々の姿を目の当たりにする。藩主からの増税に抗議して集まる群衆。あわや一揆かと思われたそのとき、あるお達しがり下り。

「本にだって雄と雌があります」小田 雅久仁/新潮文庫

「修羅走る関ヶ原」山本 兼一/集英社文庫
「政と源」三浦 しをん/集英社オレンジ文庫
東京都墨田区Y町。つまみ警職人・源二郎の弟子、徹平の様子がおかしい。どうやら昔の不良仲間によすられたらしい。それを知った源二郎は、幼なじみの国政とひと肌脱ぐことにするがー。

「小説の書きかた」「どまんなか/3」須藤 靖貴/講談社

「アクセル・ワールド/21」川原 礫/KADOKAWA
「RDG/6 (星降る夜に願うこと)」荻原 規子/KADOKAWA

「荒神」宮部 みゆき/新潮文庫
時は元禄、東北の山間の仁谷村が一夜にして壊滅状態となった。隣り合う二藩の因縁、奇異な風土病を巡る騒動…。交錯する北の人々は、それぞれの力を結集し、「災い」に立ち向かう。

「豆の上で眠る」湊 かなえ/新潮文庫
13年前に起こった姉の失踪事件。大学生になった今でも、妹の心には違和感が残り続けていた。押さえつけても亀裂から溢れ出てくる記憶と訊ねることのできない問いを胸に秘めたまま…。

「教団X」中村 文則/集英社文庫

「忍物語」西尾 維新/講談社
直江津高校の女子生徒が相次いで失踪する事件が発生した。ミイラ化した状態で発見された少女たちの首筋には特徴的な傷痕があってー？ 大学1年生になった阿良々木暦は、犯人を突き止めるべく走り出す！

「Aではない君と」薬丸 岳/講談社

「水族館の殺人」青崎 有吾/東京創元社
夏休み、風ヶ丘高校新聞部の面々が訪れた水族館で、サメが飼育員に喰いついた。警察は殺人事件として捜査を始めるが、容疑者には強固なアリバイが。仕方なく、あの天才・裏染天馬を呼び出すことに…。裏染天馬シリーズ第2弾。

「体育館の殺人」「風ヶ丘五十円玉祭りの謎」青崎 有吾/東京創元社

「書店ガール/6」碧野 圭/PHP 研究所
「からくりからくさ」「裏庭」梨木 香歩/新潮文庫

「ゼロの激震」安生 正/宝島社

「テミス」中山 七里/文芸春秋
昭和59年、浦和の不動産業者一家強盗殺人。闇へと葬られるはずだった冤罪に、一筋の光を導いたのはひとりの刑事の執念だった…。渡瀬警部が「刑事の鬼」になるまでの前日譚。

「月の満ち欠け」佐藤 正午/岩波書店

自分が命を落とすようなことがあったら、もういちど生まれ変わる。この娘が、いまは亡き我が子？ いまは亡き妻？ いまは亡き恋人？ そうでないなら、はたしてこの子は何者なのか。さまよえる魂と数奇なる愛の物語。直木賞受賞作品。

「私はフーイー」恒川 光太郎/メディアファクトリー

ヨマブリと胡弓の響き、願いを叶えてくれる魔物、林の奥の小さなパーラー、深夜に走るお化け電車、祭りの夜の不吉な予言、転生を繰り返す少女フーイーが見た島の歴史と運命とは一。

「雷の季節の終わりに」恒川 光太郎/角川書店

「鬼談」京極 夏彦/KADOKAWA
愛、絆、情一すなわち執着は、人を鬼と成す。人は人を慈しみ、嫉妬し、畏れをいだく。その思いが強ければ強いほどに。“生と死”“人と鬼”の狭間を描く、京極小説の神髄。「」談シリーズ第四弾となる、鬼気迫る短篇集。

「短編学校」米澤 穂信・他著/集英社文庫

「時をかけるゆとり」朝井 リョウ/文芸春秋
就職活動生の群像『何者』で戦後最年少の直木賞受賞者となった著者。初エッセイ集では天与の観察眼を縦横無尽に駆使し、東京の日々、バイト、夏休み、就活そして社会人生活について綴る。切なさとおかしみが炸裂する23編。

「ほくが発達障害だからできたこと」市川 たくじ/朝日新聞出版

「ロボット・イン・ザ・ガーデン」テボラ・インストール/小学館

「靴を売るシンデレラ」ジョン・バウアー/小学館

「風をつかまえた少年」ウィリアム・カムクワンバ/文芸春秋

「罪と罰/上・下巻」ドフトエフスキー/新潮文庫

※表紙画像は、出版社の許可を得て転載しています。

